

寄宿舎で寮祭開催！

学校と同じく104年目を迎えた寄宿舎の寮祭が9月10日（月）に行われました。寮祭は、寄宿舎生で運営している舎生会が主体となって運営している行事で、寄宿舎の歴史を学んだり、舎生間の親睦を通して、社会性を養ったりすることを目的に実施されました。当日は、「六星寮歴史クイズ」「ジャンボトランプババ抜き大会」等が行われ、大いに盛り上がりを見せていました。寄宿舎（六星寮）の歴史は古く、大正3年（1914年4月）に外記町（現在の青葉区本町）に宮城県立盲聾学校が開校され、これと折居松太郎の盲人日曜学校、菅原通の私立聾人学堂が合併する形で、学校経営がなされるのと同時に開舎されました。その時の舎生は27名で舎室は2部屋、食堂1部屋、職員数は5名でした。

乳幼児保護者情報交歓会

9月8日（土）に本校を会場にして、「乳幼児保護者情報交換会」を開催しました。この会は、視覚支援を必要とする就学前の子どもさんをもつ保護者の皆様、及び関係機関の皆様を対象として、子育てについて日頃困っていることや疑問に思っていることの相談と情報提供を行い、よりよい子育てに役立てていただくために開催したものです。

講師は、長年本校の学校教育や乳幼児教育等に関して御指導・御支援をいただいている、宮城教育大学名誉教授の猪平真理先生をお招きしました。参加した保護者の皆さまは、時間を忘れ熱心な情報交換を行っていました。お忙しいところ、毎年御講演くださる猪平先生に感謝申し上げます。



教材・教具紹介「フラッシュワード」

カードに書かれたひらがなと数字から単語をすばやく連想・発声し、失敗した場合は場のカードを抱え、終了時獲得したカード枚数が最も少ない人が勝ちという連想ゲームです。

めくったカードのひらがなから始まり、山札の一番上のカードの数字と同じ文字数の単語を制限時間内に正しく単語を発声できれば成功、失敗した場合は場の全てのカードを抱えます。終了時獲得したカード枚数が最も少ない人が勝ちです。たとえば、ひらがなが「う」で、山札の数字が「4」、なら「うぐいす」と時間内に発声します。全員で単語を連想し一番早く発声した人がカードをもらい、終了時獲得したカード枚数が最も多い人が勝ちというルールでも遊べます。

（日本点字図書館HP わくわく用具ショップより抜粋）



乳幼児から学齢期のお子さん、中途視覚障害の成人の方への相談支援を行っています。お気軽にご連絡ください。

担当：中澤

Mail :
myg-shikaku-soudan@od.myswan.ed.jp

宮城県立視覚支援学校

〒980-0011 仙台市青葉区上杉六丁目5番1号

TEL : 022-234-6333

FAX : 022-234-7974

HP : <https://myg-shikaku.myswan.ed.jp/>



（文責：佐藤）